

西可児駅MAP

めいてつ
駅まち
散歩



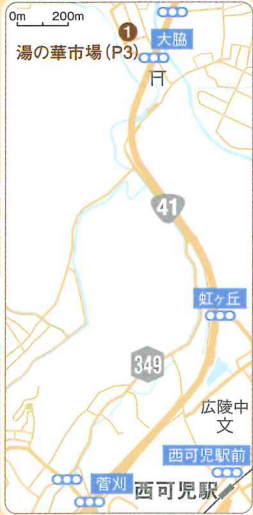
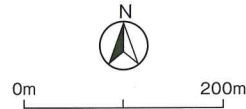
大正14年4月、名古屋鉄道の春里駅として開業。昭和44年3月、ニュータウン建設に伴い、春里駅と周辺の愛岐駅、帷子駅を統合し、西可児駅として開業。昭和55年5月、総合駅舎完成。2面2線の地上駅で、平成15年3月にはエレベーターも設置。

■アクセス/名鉄名古屋駅から西可児駅までは、大山線犬山駅で広見線に乗り換え約40分

■片道運賃/730円

このマークは駅まち特典のあるお店

- ☐ 郵便局
- ☐ 寺院
- ☐ ガソリンスタンド
- ☐ 銀行
- ☐ 神社
- ☐ 消防署
- ☐ 病院
- ☐ 工場
- ☐ 警察署
- ☐ 宿泊施設
- ☐ コンビニ
- ☐ 交番



駅前バス
ターミナルの
モニュメント



帷子(かたびら)公園 東広場



木曾川の水を取り入れて知多半島の先まで送る、愛知用水の利活用施設として整備された公園。ブランコや複合遊具などが設置され、東西に広がる園内を散策路がぐるりとめぐっています。

神明神社



森に囲まれた帷子地区の総氏神。祭神として天照皇大神を祀っています。創建年は定かではありませんが、明治40年代には、白山神社・春日神社・八幡神社などを合祀。昭和30年代まで、春の祭礼では流鏝馬(やぶさめ)が挙行されました。

帷子公園 西広場



道路の高架下をくぐる敷地の一部は、愛知用水の水路にふたをした部分。水に親しめる公園として、用水についての解説板が設置されています。多彩な植物が植えられ、滑り台などの複合遊具があるほか、間近を走る電車も眺められます。

福田寺(ふくてんじ)



寛文6年(1666年)に創建された臨済宗の寺で、山号は「徳陽山」。真新しい本堂は3月に落慶式を行なったばかり。日本堂があった境内地には、「可児郡新四国八十八ヶ所」79番札所の弘法堂や、明治24年の濃尾地震について記録した碑があります。

天地神社



創祀は未詳。祭神は国常立神(くにとこたちのかみ)で、明治40年代には、近隣にあった白山神社・御嶽神社が合祀されたと伝えられています。社殿は2段の石垣の上に建てられ、風格のあるたたずまい。木立の中を進む、急こう配の参道も厳かな雰囲気です。

